



支援プログラム

児童発達支援・放課後等デイサービス

ちやちやまる



【児童発達支援】

☆本人支援☆

健康
・
生活

- ・定期的な心身の把握(検温や体調把握)・身だしなみを整える
- ・トイレトレーニングや衣服の着脱・スケジュールの掲示
- ・食事の際の食具の使い方・食育



日々の健康状態を見守りながら睡眠・食事・排泄等の基本的な生活リズムを身につけられるように支援していきます。



運動
・
感覚

- ・サーキット等を使用した運動遊び・指先を使った微細運動・タオル遊び
- ・バランスボール等での姿勢保持・感触遊び
- ・カードや音楽を使用する様々な感覚を刺激する活動



楽しみながら五感を育み、動作や運動機能の向上を目指します。様々な感覚を刺激する活動を通して、感覚の偏りに対する環境調整や、その子の出来ることを増やすことで自信や意欲につなげます。



認知
・
行動

- ・月製作等の製作活動・パズル、カード絵合わせ・プットイン、紐通し、マッチングなど
- ・支援教材を使用して、数と空間の習得・お散歩ビンゴ・リズムダンス
- ・色や形、重さ等の物質の変化に対する認知・適切行動への対応



四季を通して視覚や聴覚、触覚の感覚を十分活用し、環境から情報を取得したり、支援教材を用いて認知の発達を支援しています。お子様の認知の特性をふまえながら、さまざまな刺激や情報を処理できるよう、環境の配慮や適切行動への対応を行います。



言語
・
コミュニケーション

- ・社会性を育むためのSST(ソーシャルスキルトレーニング)
- ・自分の気持ちを伝える手段(絵カード、代替え行動)の提示
- ・指差し、手振り、身振り、サイン等の活用・読み書き



遊びや活動を通して、物事と体験、言葉を連想したり、発達段階に合わせて様々な方法で自分の気持ちを伝える力を伸ばします。また、子どもたちや、職員とのかかわりの中で自分なりに考え伝えることの大切さを体験しながら、表現できるようになります。



人間関係
・
社会性

- ・集団遊び(ルールのある遊び)、ごっこ遊び、模倣遊び・スキンシップ遊び
- ・ちやちやまるの就労継続支援B型事業所にて、就労体験、季節に応じたイベントでの交流・お買い物体験・一人遊びから協同遊びへ



異年齢児と関わる中で、職員と一緒にストレスなく安心安全に過ごすことが出来るように、集団の中で楽しく遊ぶ時間を作るようにしています。発達段階における困りごとに対して、他者の思いを知るきっかけづくりをしていながら、気持ちのコントロールが出来るように寄り添う支援を行っています。



☆家族支援☆

・お子さまの安定した生活の確保のために日々の連絡帳でのやり取りや送迎時や電話等での相談を受け、保護者様との情報共有を行っています。また、支援を考える際はその都度ご家庭での様子や場合によっては保育所等での様子を伺い支援を工夫するようにしています。また、ニーズに合わせてご家族様のレスパイトや就労に伴い延長支援を行うようにしています。

☆移行支援☆

・関係機関や保育所等との情報共有や連携を図りながら支援をおこなっています。場合によっては、保護者様からの相談を受け、準備のお手伝いを行います。

☆地域支援 連携☆

・相談支援事業所や保育所等関係機関の関係者と連携し、地域の中で子どもたちの居場所づくりを推進します。

☆職員の質の向上☆

- ・キャリアアップ研修や、事業所内研修の実施をしています。
- ・虐待防止、身体拘束等の研修への参加、内部研修の実施を行っています。